



取扱説明書（ナビゲーション編）

DrivTrax P5

ドリブトラックスP5

パーソナル ナビゲーション デバイス

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。



この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。



絵表示について

この記号は、禁止（やっては行けないこと）する内容です。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

安全上のご注意



自動車の運転中に検索・地点登録などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから操作してください。





走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると、大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。
安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、目的地までのルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

本機の扱い上の警告

本機の分解、改造をしない



本機の機構は精密なため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解、回転部分への注油はやめてください。事故や火災、感電の原因となります。

万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなどの異常が起これば、ただちに使用を中止する



そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。

目次

1 はじめに

安全にお使いいただくために必ずお読みください...	1
安全上のご注意	1
走行中はナビゲーションの操作をしない	2
交通規則に従って走行する	2
本機の扱い上の警告	2
目次	3
ナビゲーションでできること	4
画面表示について	4

2 基本操作

ナビゲーションの起動	5
ナビゲーションの終了	5
現在地画面	6
地図スクロール画面	7
地図のスケールを変える	8
地図画面の表示について	8
地図表示の向きについて	8
地図画面の配色について	9
「メニュー画面」を表示する	9
各設定画面の基本操作	10
リスト表示の画面操作	10
タブ表示の画面操作	10
チェックボックス表示の画面操作	10
「現在地」	10
「もどる」	10
地図記号一覧	11

3 場所（行き先）を探す

地図画面で探す	12
住所で探す	13
電話番号で探す	15
名称で探す	16
周辺の施設を探す	17
ジャンルで探す	18
登録した場所（登録地）から探す	20
検索履歴から探す	21
検索履歴を消去する	22
探した場所の地図を見る	22

4 ルート誘導

ルートを探索する	23
探索条件を変更して再探索する	24
ルートを削除する	25
ルートを変更する	25

ルート誘導を開始する	26
ルート誘導中の案内について	27
ラリビュー画面	28
ハイウェイモード	29
音声による誘導	30
オートリルートについて	30
経由地が設定されている場合	30
リルートを「手動」に設定している場合	31
条件を変えてルートを探索させる	31
ルート誘導中に周辺施設を探す	32
ルートを削除する	32

5 経由地 / 登録地 / 現在地修正

経由地を設定する	33
経由地を削除 / 変更する	33
地点を登録する（登録地）	34
登録地を編集する	35
登録地を削除する	36
現在地を修正する	36

6 ナビ設定

ルート探索条件の設定を変更する	37
リルートの設定を変更する	37
地図の配色を変更する	38
地図表示の向きを変更する	38
地図のアイコン表示を変更する	39
走行軌跡表示を変更する	39
走行軌跡を消去する	40
設定をご購入時の状態に戻す	40
GPSの測位状態を確認する	41
デモ走行でルート誘導を確認する	42
ナビゲーションを終了する	43

7 付録

ナビゲーションのしくみ	44
GPSによる測位	44
マップマッチング	44
誤差について	44
収録されている地図情報について	46
地図について	46
交通規制データについて	46
電話番号検索のデータについて	47
アイコン表示について	47
ルートに関する注意事項	47

ナビゲーションでできること

高性能！ルート探索&誘導！

- ・カーナビで実績を積んだ高性能ルート探索エンジンを搭載！
- ・おすすめ、距離優先、主要道を優先、有料道回避などドライブプランに合わせた探索条件でドライブをサポートします。
- ・有料道路は専用のハイウェイモードでわかりやすくご案内！
- ・交差点がわかりやすい、オートズーム交差点誘導機能！
レーン情報や方面看板でドライバーをアシストします。

多彩な地点検索機能はポータブル随一！

- ・日本全国の住所検索やジャンル、周辺からのスポット検索はもちろん、キーワードによる名称検索や電話番号検索も標準装備。検索手段が豊富、だから探しやすい！
- ・検索情報は 2000 万件以上！

見やすさに実績があるデジタル地図採用！

- ・信頼の地図サービス「MapFan」で実績を積んだデジタル地図（インクリメント P 株式会社）を採用！
- ・縮尺 1/6,250 を含む道路地図を、日本全国 11 段階でフルカバー！

その他の主な機能

- ・経由地を指定するルート探索
- ・地点登録機能
- ・検索履歴機能
- ・オートリルート
- ・ヘディングアップ、ノースアップの地図表示方向切替え
- ・音声案内
- ・走行軌跡表示
- ・地図上への店舗ロゴマーク表示

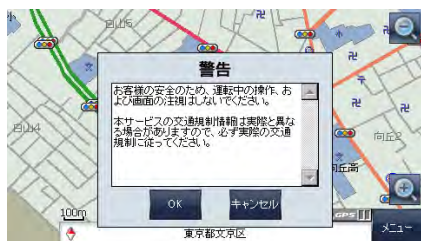
■お断り

仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

ナビゲーションの起動

本体の「ホーム画面」から【ナビゲーション】をタップすると、起動画面表示後に警告画面が表示されます。

【OK】をタップすると地図画面が表示され、ナビゲーションが起動します。

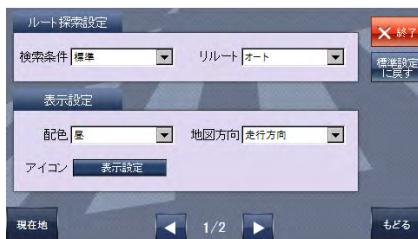


メモ

- 警告画面で【キャンセル】をタップすると、ナビゲーションの起動を中止して本体の「ホーム画面」に戻ります。

ナビゲーションの終了

ナビゲーションの終了は、「ナビ設定画面」を表示してから【終了】をタップします。



メモ

- 【メニュー】をタップ→【ナビ設定】をタップすると「ナビ設定画面」を表示できます。詳しくは、→ (P43)「ナビ設定」を参照してください。

現在地画面

ナビゲーションが起動すると現在地の地図画面が表示されます。起動後の地図画面は 100m スケールで表示します。

GPS 信号測位状況表示

GPS 信号の測位状況を表示します。(→ P44)

未取得：



2 次元測位：



3 次元測位：



自車マーク

車の位置と進行方向を表します。

方位表示

赤い三角が北の方向を示します。

スケール表示

地図のスケールを表示します。

現在地の地名表示

自車位置周辺の地名を表示します。

- 地名をタップすると表示を切り替えることができます。タップすることにより、緯度経度表示→現在時刻表示→道路名称表示→地名表示（市区町村）の順に切り替わります。

スケール [＋] [－]
地図のスケールを変更します。

【メニュー】

【メニュー】をタップすると、「メニュー画面」に切り替わります。(→ P9)「メニュー画面を表示する」

メモ

- 変更したスケールは、ナビゲーションを終了して再起動すると、リセットされて 100m スケールで地図を表示します。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- GPS 信号の受信状態が悪く、自車位置を測位できないときは、前回終了時の地点を表示します。

地図スクロール画面

地図スクロール画面は、地図を動かすときに表示される地図画面です。

1 地図上の見たい地点をタップする

タップした地点を中心とした地図が表示されます。

スケール表示

地図のスケールを表示します。

センターマーク

地図上の中心点を示します。

【決定】

【決定】をタップするとサブメニューが表示されます。(→P12)「地図画面で探す」

スケール [+] [-]

地図のスケールを変更します。

【現在地】

「現在地画面」に戻ります。

方位表示

赤い三角が北の方向を示します。

センターマークの地名表示

センターマーク周辺の地名を表示します。

- 地名をタップすると表示を切り替えることができます。タップすることにより、緯度経度表示→現在時刻表示→道路名称表示→地名表示（市区町村）の順に切り替わります。

【メニュー】

【メニュー】をタップすると、「メニュー画面」に切り替わります。(→P9)「メニュー画面を表示する」



メモ

- 地図上をタップし続けると、タップした地点の方向に地図が連続してスクロールします。センターマークから離れた地点をタップするほど、その距離に合わせて地図がスクロールします。

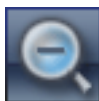
地図のスケールを変える

地図のスケールは 50m ～ 100km の範囲で変えることができます。

通常は 100m スケールで表示されます。

1 [＋]・[－] をタップする

タップするたびに 50m、100m、200m、500m、1km、2km、5km、10km、20km、50km、100km で地図のスケールが変わります。



(広域)



(詳細)



メモ

- ・[＋] または [－] をタップし続けると、地図のスケールが連続的に変わります。
- ・「ルート誘導画面」、「地図スクロール画面」から【現在地】をタップして「現在地画面」に切り替えると、切り替える前の画面のスケールで地図が表示されます。

地図画面の表示について

地図表示の向きについて

進行方向が常に上にくるように地図が回転するヘディングアップと、常に北を上に表示するノースアップの地図の表示を選ぶことができます。

〈ヘディングアップ〉



〈ノースアップ〉



メモ

- ・ご購入時は、ヘディングアップに設定されています。地図表示の向きを変更するときは、(→P38)「地図表示の向きを変更する」を参照してください。

地図画面の配色について

地図画面の配色を昼／夜／屋外で選ぶことができます。夜は夜間走行時、屋外は明るい場所を走行時に適切な配色になっています。走行する場所、時間に合わせて画面の配色を設定してください。

〈昼〉



〈夜〉



〈屋外〉



メモ

- ご購入時は、昼に設定されています。地図画面の配色を変更するときは、(→ P38)「地図の配色を変更する」を参照してください。

「メニュー画面」を表示する

「現在地画面」「地図スクロール画面」「ルート誘導画面」で【メニュー】をタップすると表示されます。



- 【住所】 (→ P13) 住所で探す。
- 【電話番号】 (→ P15) 電話番号で探す。
- 【名称】 (→ P16) 名称で探す。
- 【周辺検索】 (→ P17) 周辺施設を探す。
- 【ジャンル】 (→ P18) ジャンルで探す。
- 【登録地】 (→ P20) 登録地から探す。
- 【検索履歴】 (→ P21) 検索履歴から探す。
- 【現在地】 メニューを終了して、「現在地画面」を表示します。
- 【ルート確認】 (→ P31、P32) 設定したルート情報を確認します。
- 【ナビ設定】 (→ P37) 用途やお好みに応じて設定を変更します。

メモ

- 【ルート確認】は、ルートがあるときに表示されます。

各設定画面の基本操作

リスト表示の画面操作

リストの項目を画面に表示しきれないときは、スクロールボタン（リスト送り / ページ送り）が画面に表示されます。

リスト送りボタンにタップすると、リスト表示を上下にスクロールします。

ページ送りボタンをタップすると、ページ（画面）を前または次ページに送ります。

【スクロール】ボタン



【リスト送り】ボタン

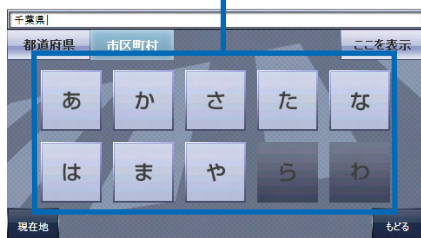
【ページ送り】ボタン

タブ表示の画面操作

都道府県、市区町村などのリストでは、タブが画面に表示されます。

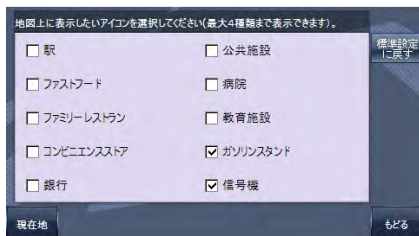
タブをタップすると、選んだタブのリストを表示します。

タブ



チェックボックス表示の画面操作

チェックボックスが表示される画面では、チェックボックス（□）をタップして選択または解除の操作を行います。



【現在地】

各画面で、【現在地】をタップすると、入力または選択した内容をキャンセルして「現在地画面」を表示します。



【もどる】

各画面で、【もどる】をタップすると、入力または選択した内容をキャンセルして、前の画面に戻ります。



地図記号一覧

地図関連

- 指示点
- ▲ 山岳
- ⛶ 公園
- 🏭 工場
- ⚡ 発電所
- 🚇 トンネル
- 🏠 マンション
- SA サービスエリア
- PA パーキングエリア
- IC インターチェンジ
- ¥ 料金所
- P 駐車場・道の駅
- 🛢 ガソリンスタンド
- 🏦 銀行
- 🍽 ファミリーレストラン
- 🍔 ファストフード
- 🏪 コンビニエンスストア
- 🚗 カーディーラー
- ✈ 空港
- 🛫 ヘリポート
- 🚢 フェリー乗り場
- 🗼 タワー・展望台
- 🏰 灯台
- 🪦 墓地
- 🏛 公共館など
- 👮 警察署
- 🚒 消防署
- 🏛 官公庁・裁判所・大使館など
- 🏢 都道府県庁
- 🏘 市町村役場

- 👮 自衛隊
- 🇺🇸 米軍
- 🏥 病院
- 📮 郵便局
- 📞 NTT
- 🎓 学校
- 🎒 小学校
- 🎒 中学校
- 🎓 大学
- 🎒 幼稚園
- 🎒 保育園
- 🚗 自動車教習所
- ♨ 温泉
- ♨ 銭湯
- 🎡 遊園地・レジャーランド
- 🏕 キャンプ場
- 🏌 ゴルフ場
- ⚾ 野球場
- 🏟 スタジアム
- 🏟 体育館
- 🎿 スキー場
- 🏂 スケート場
- 🏊 海水浴場・プール
- 🛥 ヨットハーバー
- 🏄 サーフィングエリア
- 🏎 モータースポーツ
- 🎨 美術館・博物館・図書館など
- 🐾 動物園
- 🌿 植物園
- 🐠 水族館
- 🏛 プラネタリウム

- 🎭 ホール・劇場
- 📷 フォトポイント
- 🏯 神社
- 🏯 仏閣
- 🏯 教会
- 🏰 城・城跡
- 🏯 天然記念物など
- 🏯 陵墓・古墳
- 🐮 牧場
- 🌳 果樹園
- 🏪 倉庫
- 🏇 競馬場
- 🛒 デパート
- 🛒 スーパーマーケット
- 🏪 市場
- 🛒 ショッピングセンター
- 🔧 DIY
- 🏠 リゾートホテル

ルート関連

- G 目的地
- I 経由地
- S 出発地
- 🚩 誘導ポイント
- 📶 信号機
- 🚦 案内中ルート（有料道）
- 🚦 案内中ルート（一般道）

※記号やマークは、スケールによって表示されない場合があります。

※実際の色と異なる場合があります。

3 場所（行き先）を探す

地図画面で探す

地図画面をタップして、地図上で場所を探します。

1 地図画面で地図上をタップする



2 地図をスクロールさせ、探したい場所をタップして画面の中心に合わせる



3 「決定」をタップする



4 操作する項目をタップする



【ここへ行く】：探した地点を目的地に設定します。→（P23）「ルートを探索する」

【地点登録】：探した地点を登録します。→（P34）「地点を登録する（登録地）」

【現在地設定】：探した地点を現在地に修正します。→（P36）「現在地を修正する」

住所で探す

住所で場所を探します。番地まで入力して探すことができます。

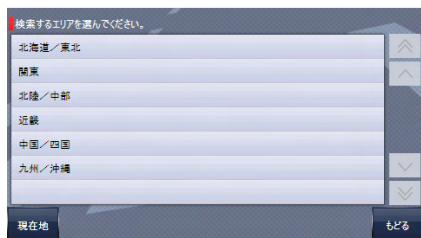
1 「メニュー」をタップする



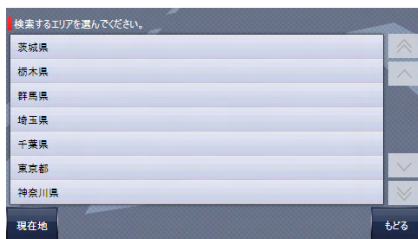
2 「住所」をタップする



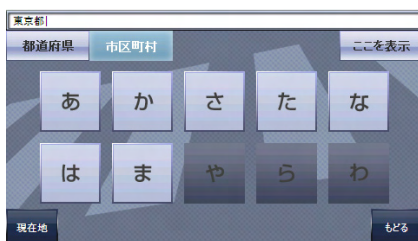
3 「エリア」をタップする



4 「都道府県」をタップする



5 「市区町村」の頭の文字をタップする



6 「市区町村」をタップする

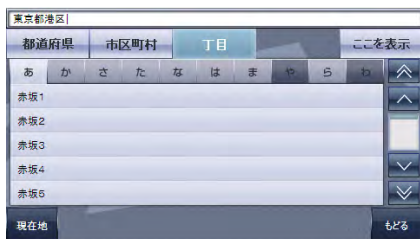


メモ

- 住所に小字があるときは、「市区町村」を選んだ後に小字の選択画面が表示されます。

3 場所（行き先）を探す

7 「丁目」をタップする



8 「番地」をタップする



▼
入力した住所を中心に「地点確認画面」が表示されます。

9 操作する項目をタップする



【ここへ行く】：探した地点を目的地に設定します。→(P23)「ルートを探索する」

【地点登録】：探した地点を登録します。→(P34)「地点を登録する（登録地）」

【地図を見る】：探した場所の地図を表示します。→(P22)「探した場所の地図を見る」

メモ

- 入力が終了したタブをタップすると、入力した内容をキャンセルしてタップしたタブの入力画面に戻ります。
- 各画面で【ここを表示】をタップすると、その画面までに選んだ住所の代表地点を表示します。
- 場所によっては番地が抜けていたり、飛んでいる場合があります。

電話番号で探す

探す場所の電話番号を入力して探すことができます。

1 [メニュー] をタップする



2 [電話番号] をタップする



3 「数字」をタップして電話番号を入力し、[決定] をタップする



入力した電話番号の検索結果がリストで表示されます。

※該当する施設が見つからない場合は、リストに付近の住所（市区町村）が表示されます。

【一文字削除】：入力した数字を一文字削除します。

4 リストから場所をタップする

選んだリストの行き先を中心に「地点確認画面」が表示されます。

5 操作する項目をタップする



【ここへ行く】：探した地点を目的地に設定します。→ (P23)「ルートを探す」

【地点登録】：探した地点を登録します。→ (P34)「地点を登録する（登録地）」

【地図を見る】：探した場所の地図を表示します。→ (P22)「探した場所の地図を見る」

メモ

- 電話番号検索は法人電話帳から検索されます。
- 市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- 11桁まで入力できます。
- 個人宅の電話番号からは、検索できません。

3 場所（行き先）を探す

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 「メニュー」をタップする



2 「名称」をタップする



3 ソフトウェアキーボードで名称を入力する

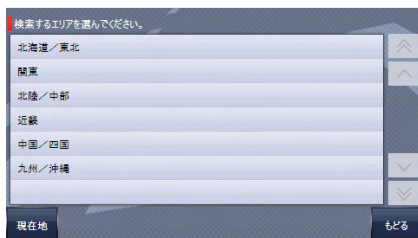


4 名称の入力を終了してから「検索」をタップする

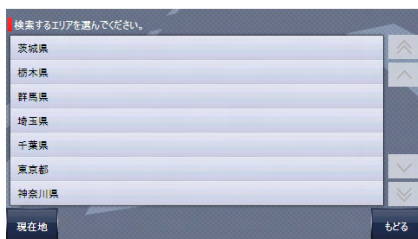
メモ

- 文字入力を終了するには、ソフトウェアキーボード、入力ボックス以外の空いている場所をタップします。

5 「エリア」をタップする



6 「都道府県」をタップする



▼
入力した名称の検索結果がリストで表示されます。

※検索結果が 1 件もない場合は、「該当するデータがありませんでした。」の表示がされます。

7 リストから行き先をタップする

▼
選んだリストの行き先を中心に「地点確認画面」が表示されます。

8 操作する項目をタップする



【ここへ行く】：探した地点を目的地に設定します。→(P23)「ルートを探索する」

【地点登録】：探した地点を登録します。→(P34)「地点を登録する（登録地）」

【地図を見る】：探した場所の地図を表示します。→(P22)「探した場所の地図を見る」

メモ

- 検索対象の文字数は2文字から20文字までです。入力文字数が2文字未満、21文字を超えて入力された場合はエラーメッセージが表示されます。
- ひらがな以外の入力ではできません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがなで入力します。ローマ字、数字などで入力した場合は、検索できません。
※ひらがな以外のキーは使用しないでください。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます。

周辺の施設を探す

レストランやガソリンスタンドなど、現在地やスクロール先の周辺（半径10km）施設を100件まで探すことができます。

1 【メニュー】をタップする



2 【周辺検索】をタップする



3 検索する「ジャンル」をタップする



選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

3 場所（行き先）を探す

4 リストから周辺施設をタップする

選んだリストの行き先を中心に「地点確認画面」が表示されます。

5 操作する項目をタップする



【ここへ行く】：探した地点を目的地に設定します。→ (P23)「ルートを探する」

【地点登録】：探した地点を登録します。→ (P34)「地点を登録する（登録地）」

【地図を見る】：探した場所の地図を表示します。→ (P22)「探した場所の地図を見る」

メモ

- 画面の位置（+）を修正する場合は、手順5で【地図を見る】をタップし、地図をスクロールして位置を修正します。→ (P12)「地図画面で探す」

ジャンルで探す

ジャンルリストから各種施設を探すことができます。

1 【メニュー】をタップする



2 【ジャンル】をタップする



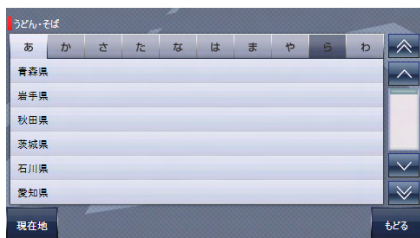
3 探している施設のジャンルをタップする



メモ

- ・ 探すジャンルによっては、さらに詳細を絞り込むための画面が表示されます。表示される画面で探すジャンルをタップしてください。
- ・ 絞り込む必要がないジャンルは、「都道府県」を選ぶ画面に切り替わります。

4 「都道府県」をタップする



5 「市区町村」をタップする



選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

6 目的の施設をタップする

選んだリストの行き先を中心に「地点確認画面」が表示されます。

7 操作する項目をタップする



【ここへ行く】： 探した地点を目的地に設定します。→ (P23) 「ルートを探索する」

【地点登録】： 探した地点を登録します。→ (P34) 「地点を登録する（登録地）」

【地図を見る】： 探した場所の地図を表示します。→ (P22) 「探した場所の地図を見る」

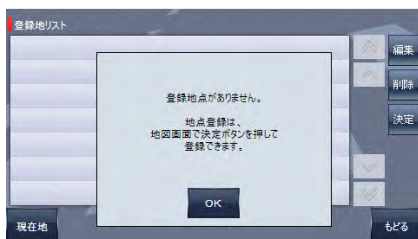
3 場所（行き先）を探す

登録した場所（登録地）から探す

すでに登録されている場所（登録地）から探すことができます。

メモ

- 登録されている地点が無い場合は、次の画面が表示されます。登録地については、(→P34)「地点を登録する」を参照してください。



1 [メニュー] をタップする



2 [登録地] をタップする



3 探している「登録地」をタップし、[決定] をタップする



選んだリストの行き先を中心に「地点確認画面」が表示されます。

4 操作する項目をタップする



【ここへ行く】：探した地点を目的地に設定します。→(P23)「ルートを探す」

【地点登録】：探した地点を登録します。→(P34)「地点を登録する（登録地）」

【地図を見る】：探した場所の地図を表示します。→(P22)「探した場所の地図を見る」

検索履歴から探す

過去に検索した行き先（目的地）から探すことができます。

1 [メニュー] をタップする



2 [検索履歴] をタップする



3 履歴の地点をタップする



選んだリストの行き先を中心に「地点確認画面」が表示されます。

【リセット】：検索履歴をすべて消去します。

4 操作する項目をタップする



【ここへ行く】：探した地点を目的地に設定します。→ (P23)「ルートを探す」

【地点登録】：探した地点を登録します。→ (P34)「地点を登録する（登録地）」

【地図を見る】：探した場所の地図を表示します。→ (P22)「探した場所の地図を見る」

メモ

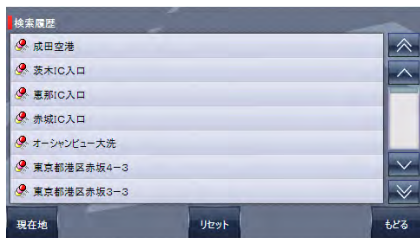
- 「ルート設定画面」まで表示させた最新の検索履歴 50 件までが表示されます。50 件を超えた場合、最も古い検索履歴から自動的に消去されます。
- 「検索履歴」で探した地点で、「ルート設定画面」までの操作を行うと、この地点が最新の履歴として追加されます。

3 場所（行き先）を探す

検索履歴を消去する

過去に検索した行き先（目的地）をすべて消去します。

1 「検索履歴画面」で「リセット」をタップする



検索履歴が消去されます。

探した場所の地図を見る

1 場所を探す

住所で探す→P13
電話番号で探す→P15
名称で探す→P16
周辺の施設を探す→P17
ジャンルで探す→P18
登録した場所から探す→P20
検索履歴から探す→P21

2 「地図を見る」をタップする



地図が表示されます。

ルートを探索する

探した場所を行き先（目的地）として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、「ルート確認画面」が表示されます。

1 行き先を探す

地図画面で探す→P12
住所で探す→P13
電話番号で探す→P15
名称で探す→P16
周辺施設で探す→P17
ジャンルで探す→P18
登録地で探す→P20
検索履歴で探す→P21

2 「ここへ行く」をタップする



3 「OK」をタップする



行き先までのルートを探索し、「ルート確認画面」が表示されます。

【キャンセル】をタップした場合は、ルート探索をキャンセルします。

メモ

- 目的地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ」が表示されます。【有料道路】または【一般道路】のどちらかを選びルートを設定します。

4 ルートを確認する



ルート

ルート情報

【誘導開始】：ルート誘導を開始します。→ (P26)「ルート誘導を開始する」

【誘導設定】：ルート探索条件を変更して、ルートの探索を行います。→ (P31)「条件を変えてルートを探させる」

【ルート削除】：探索したルートを削除します。→ (P32)「ルートを削除する」

ルート情報

【料金】：行き先（目的地）までに利用する有料道路の料金を表示します。

【距離】：行き先（目的地）までの距離を表示します。

【時間】：行き先（目的地）到着までのおよその時間を表示します。

メモ

- ・ルート全域が入るスケールでノースアップ表示しますが、入るスケールが無い場合にはスタート地点を中心とした最大スケールで地図を表示し、地図の拡大・縮小は行えません。
- ・「時間」は、一般道路 30km、有料道路 80km の平均車速で表示します。

探索条件を変更して再探索する

ルートの探索条件を変更して、ルートを再探索します。

1 「ルート確認画面」で【誘導設定】をタップする



2 「探索条件」をタップする



探索条件

【初期設定】：探索条件を初期設定（標準）に戻します。

【キャンセル】：誘導設定を中止し、「ルート確認画面」に戻ります。

探索条件

【標準】：標準的な探索条件でルートを探します。

【距離優先】：距離を優先してルートを探します。

【幹線優先】：主要道路の通行を優先してルートを探します。

【有料回避】：有料道路を使用しない条件でルートを探します。



行き先までのルートを探し、「ルート確認画面」が表示されます。

ルートを削除する

探索したルートを削除します。

- 1 「ルート確認画面」で【ルート削除】をタップする



- 2 【OK】をタップする



ルートが削除されます。

【キャンセル】をタップした場合は、ルート削除を中止し、「ルート確認画面」に戻ります。

メモ

- ・ ルートは、目的地に近づき「案内を終了します」の音声案内時に、自動的に削除されます。

ルートを変更する

ルート探索後に行き先を変更してルートを設定しなおすことができます。

- 1 変更する行き先を探す

地図画面で探す→P12
住所で探す→P13
電話番号で探す→P15
名称で探す→P16
周辺の施設を探す→P17
ジャンルで探す→P18
登録した場所から探す→P20
検索履歴から探す→P21

- 2 「ここへ行く」をタップする

「経由地設定ダイアログ」が表示されます。

- 3 「目的地をこの地点に変更する」をタップし、【OK】をタップする



目的地を設定して「ルート確認画面」が表示されます。

メモ

- ・ 目的地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ」が表示されます。【有料道路】または【一般道路】のどちらかを選びルートを設定します。
- ・ 「経由地に追加する」をタップし、【OK】をタップすると経由地に設定します。

ルート誘導を開始する

ルートが決まったら、ルート誘導を開始します。

1 「誘導開始」をタップする



2 走行を開始する

走行を開始すると状況に応じて画面と音声でルート誘導を行います。目的地に近づくとルート誘導を中止し、ルートが削除されます。

メモ

- ・ ルート誘導を中止するときは、ルートを削除します。→ (P32)「ルートを削除する」

ルート誘導中の案内について

ルート誘導を開始すると、「ルート誘導画面」が表示され、画面と音声で目的地まで設定したルートで誘導が行われます。

交差点名称

最も近い誘導地点の交差点名称を表示します。

目的地方向表示

自車位置と目的地を結んだ線で、目的地の方向を表示します。

ラリービュー

誘導地点を矢印で表示します。最も近い誘導地点までの距離が表示されます。

目的地までの距離、到着予想時刻

現在地の地名表示

現在の自車位置周辺の地名を表示します。

方面看板 / レーン情報

案内中のルートの参考情報として方面看板と進行方向を案内するレーン情報を表示します。

スケール [+][-]

地図のスケールを変更します。

[メニュー]

[メニュー] をタップすると、「メニュー画面」に切り替わります。
(→ P9)「メニュー画面を表示する」

GPS 信号測位状況表示

GPS 信号の測位状況を表示します。

未取得: 

2 次元測位: 

3 次元測位: 



メモ

- 誘導を開始すると、誘導中の地図を 100 m スケールで表示します。スケールを変更すると、変更したスケールで地図を表示します。
- 誘導中に有料道路を走行すると、「ハイウェイモード」に切り替わり、誘導中の地図を 500 m スケールで表示します (→ P29)「ハイウェイモード」。
- 交差点名称、方面看板、レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。
- 方面看板、レーン情報は実際の標識と異なる場合があります。
- 誘導中のルートは、一般道路は黄緑色、有料道路は水色で表示されます。
- 走行軌跡表示を表示しない設定にすることもできます。→ (P37)「ナビ設定」を参照してください。
- ルート誘導中に地図上をタップすると、「地図スクロール画面」が表示されます。音声の誘導は継続して行われます。**[現在地]** をタップすると「ルート誘導画面」に戻ります。
- 目的地に近づくと、「案内を終了します」の音声案内がながれて誘導を終了し、通常の地図表示画面に切り替わります。

ラビュー画面

誘導地点までの距離に応じて、誘導矢印で方向を表示します。また、最も近い誘導地点までの距離がカウントダウンで表示されます。

誘導矢印



カウントダウン表示

メモ

- 「ラビュー画面」では誘導矢印が最大 4 つ先まで表示されます。
- 誘導矢印は 7 方向が表示されます。
- 誘導矢印が 700 m ライン以下にある場合は、最も自転車位置に近い誘導矢印が赤色で表示されます。
- 700m 以内に複数の誘導地点が存在する場合は、700m ラインより下方向に複数の誘導矢印が表示されます。
- 701m 以上、1km 以内に誘導地点がある場合は、1km ラインに誘導矢印が表示されず。

誘導地点 300m 手前に近づくと

交差点が拡大表示されます。

メモ

- 方面看板、レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。

ハイウェイモード

ルート誘導時に高速道路の入口へ入ると、自動的に「ハイウェイモード画面」に切り替ります。

目的地までの距離、到着予想時刻



誘導地点表示

ルート上の次の誘導地点までの距離と情報を最大3つまで表示します。

施設情報表示

施設の情報を次の優先度で表示します。

- 1: GS
- 2: 身障者用トイレ
- 3: レストラン
- 4: 土産物屋
- 5: 休憩所
- 6: 仮眠休憩所
- 7: インフォメーション
- 8: シャワールーム
- 9: コインランドリー
- 10: 風呂(温泉浴場)
- 11: FAX
- 12: 郵便ポスト
- 13: キャッシュディスペンサー

誘導地点 2km 手前に近づく

音声で案内されます。

例:「およそ 2km 先、〇〇方向です。」

誘導地点 1km 手前に近づく

音声で案内されます。

分岐情報とレーン情報が表示されます。



メモ

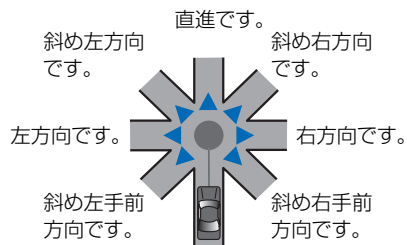
- ・「ハイウェイモード」では、スケールを変更することはできません。
 - ・レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。
 - ・有料道路の出口へ到達すると、自動的に通常の誘導画面へ切り替わって、引続き目的地までの誘導を行います。
 - ・【地図表示】をタップすると「現在地画面」に切り替わります。「現在地画面」から誘導を再開するには【現在地】をタップしてください。
- ※誘導を再開したとき、GPSで測位した現在位置を考慮して誘導が再開されます。
- ※誘導再開時の自車位置がルートから離れている場合はリルートを行います。
- ※GPS測位状況によっては誤差が生じ、「ハイウェイモード画面」⇄「一般地図画面」に切り替わる場合があります。

音声による誘導

ルート走行中は、走行中の状況に合わせて音声で誘導が行われます。

走行方向の誘導例

走行方向（7方向）は、音声で以下のように誘導されます。



音声案内のタイミング

音声案内は以下のポイントで行われます。

一般道：700m 手前、300m 手前

高速道：1km 手前、2km 手前

・音声案内の例

「ブーン（効果音）、まもなく右方向です」

メモ

- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

オートリルートについて

誘導中のルートからはずれた場合、自動的にルートを再探索します。リルートが終了すると「リルートしました」とメッセージと音声で案内されます。



設定されているルート



リルート後のルート

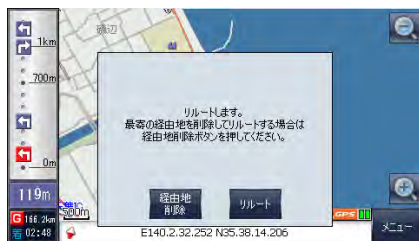
メモ

- リルートの条件は変更できます。
→ (P37)「ナビ設定」を参照してください。

経由地が設定されている場合

リルートするときに経由地が設定されている場合、最寄りの経由地を削除してリルートを行うかどうかの「確認ダイアログ」が表示されます。

1 リルートする項目をタップする



【経由地削除】：最寄りの経由地を削除してリルートします。

【リルート】：最寄りの経由地を経由してリルートします。

メモ

- 「確認ダイアログ」表示後、一定時間が経過すると「確認ダイアログ」を閉じて、リルートが行われます。

リートを「手動」に設定している場合

リートを開始するときに、リートをを行うかどうかの「確認ダイアログ」が表示されます。

1 「リルート」をタップする



リルートが行われます。

【キャンセル】をタップした場合、リルートをキャンセルします。

メモ

- 「確認ダイアログ」表示後、一定時間経過するとリルートされずに「確認ダイアログ」を閉じます。
- リルートをキャンセルすると、「ルート誘導画面」の表示はそのまま誘導情報の一部（ラビュー、目的地までの距離、到着予測時刻、交差点名称の表示と音声案内）が解除され、画面左下に【リルート】が表示されます。【リルート】をタップするとリルートが行われます。

条件を変えてルートを探させる

案内中のルートで探索条件を変えて再探索させることができます。

1 【メニュー】をタップする

2 【ルート確認】をタップする

3 【誘導設定】をタップする

4 「探索条件」をタップし、【OK】をタップする



【標準】：標準的な探索条件でルートを探します。

【距離優先】：距離を優先してルートを探します。

【幹線優先】：主要道路の通行を優先してルートを探します。

【有料回避】：有料道路を使用しない条件でルートを探します。

選んだ探索条件でルートを再探索し、「ルート確認画面」が表示されます。

ルート誘導中に周辺施設を探す

ルート上にある自転車位置周辺（半径 10km、100 件まで）の施設を探すことができます。

1 【メニュー】をタップする

2 【周辺検索】をタップする

以降の操作は(→P17)「周辺の施設を探す」を参照してください。

ルートを削除する

ルート誘導中のルートを削除することができます。

1 【メニュー】をタップする

2 【ルート確認】をタップする

3 【ルート削除】をタップする



4 【OK】をタップする



ルートが削除されます。

経由地を設定する

ルート上に立ち寄る場所を追加して、経由地を經由するルートを案内させることができます。経由地の設定は、目的地までのルートが設定されているときに行うことができます。

1 経由地に設定する行き先を探す

地図画面で探す→P12

住所で探す→P13

電話番号で探す→P15

名称で探す→P16

周辺の施設を探す→P17

ジャンルで探す→P18

登録した場所から探す→P20

検索履歴から探す→P21

2 「ここへ行く」をタップする

「経由地設定ダイアログ」が表示されます。

3 「経由地に追加する」をタップし、[OK]をタップする



経由地を設定して「ルート確認画面」が表示されます。

メモ

- 行き先に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ」が表示されます。【有料道路】または【一般道路】のどちらかを選びルートを設定します。
- 「目的地をこの地点に変更する」をタップし、[OK] をタップすると目的地を変更します。

4 ルートを確認する



【誘導開始】：ルート誘導を開始します。→ (P26)「ルート誘導を開始する」

【誘導設定】：ルート探索条件を変更して、ルートの探索を行います。→ (P31)「条件を変えてルートを探させる」

【ルート削除】：探索したルートを削除します。→ (P32)「ルートを削除する」

メモ

- 経由地は最大5つまで登録できます。登録した順に経由地が追加されます。

経由地を削除 / 変更する

設定した経由地のみを削除または変更することはできません。

経由地を削除または変更する場合は、ルートを削除（→P32「ルートを削除する」）してから新たにルート探索します。

地点を登録する（登録地）

自宅や良く行く場所を（200 件まで）登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。登録する地点は、名称、コメント、アイコンの情報を登録することができます。

1 登録したい地点を探す

地図画面で探す→P12

住所で探す→P13

電話番号で探す→P15

名称で探す→P16

周辺の施設を探す→P17

ジャンルで探す→P18

登録した場所から探す→P20

検索履歴から探す→P21

2 「地点登録」をタップする



3 「名称」または「コメント」の入力ボックスをタップする



ソフトウェアキーボードが表示されます。

4 ソフトウェアキーボードで名称とコメントを入力する



5 「アイコン表示」をタップし、プルダウンメニューからアイコンを選ぶ



アイコン表示

6 「登録」をタップする



7 [OK] をタップする



「登録地リスト画面」が表示されます。

「キャンセル」をタップした場合は、地点の登録をキャンセルします。

8 登録地のリストを確認する



【編集】: タップした登録地を編集します。

→ (P35)「登録地を編集する」

【削除】: タップした登録地を削除します。

→ (P36)「登録地を削除する」

【決定】: タップした登録地を行き先に設定します。→ (P20)「登録した場所 (登録地) から探す」

メモ

- ・ 名称の入力文字数は 40 文字まで、コメントの入力文字数は 100 文字までです。
- ・ 選択できるアイコンは 10 種類です。

登録地を編集する

登録地を編集することができます。

1 【メニュー】をタップする

2 【登録地】をタップする

「登録地リスト画面」が表示されます。

3 編集する登録地をタップし、【編集】をタップする



以降の操作は→(P34)「地点を登録する (登録地)」の 3 から 7 を参照してください。

登録地を削除する

不要になった登録地を削除することができます。

1 【メニュー】をタップする

2 【登録地】をタップする

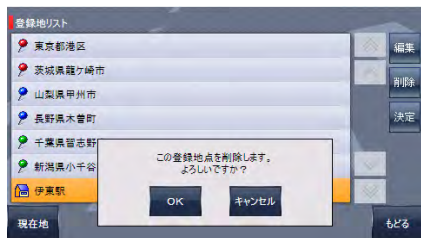
「登録地リスト画面」が表示されます。

3 削除する登録地をタップし、【削除】をタップする



「確認ダイアログ」が表示されます。

4 【OK】をタップする



登録地が削除されます。

現在地を修正する

屋内など GPS 信号を受信できない場所にいる場合は、その場所を現在地に修正することができます。

1 現在地に修正する場所を探す

地図画面で探す→P12

住所で探す→P13

電話番号で探す→P15

名称で探す→P16

周辺の施設を探す→P17

ジャンルで探す→P18

登録した場所から探す→P20

検索履歴から探す→P21

2 【現在地設定】をタップする



3 【OK】をタップする



「現在地画面」が表示されます。

メモ

- GPS 信号を取得すると、現在地がその地点に移動します。

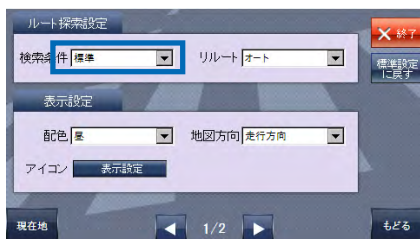
用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

メモ

- ・ナビ設定では、項目を選んだ時点でその項目の内容で設定されます。
- ・【現在地】をタップすると、それまでに設定された内容で「現在地画面」に戻ります。
- ・【もどる】をタップすると、前の画面に戻ります。

ルート探索条件の設定を変更する

- 1 【メニュー】をタップする
- 2 【ナビ設定】をタップする
- 3 「検索条件」のボックスをタップし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ



【標準】：標準的な探索条件でルートが探索されます。（※ご購入時の設定です。）

【距離優先】：距離を優先してルートが探索されます。

【幹線優先】：主要道路を優先してルートが探索されます。

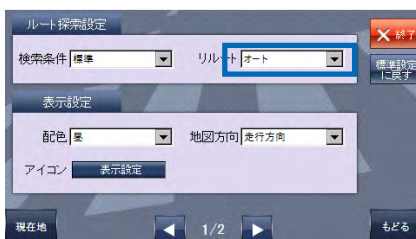
【有料回避】：有料道路を回避したルートが探索されます。

- 4 【現在地】をタップする

設定を終了します。

リルートの設定を変更する

- 1 【メニュー】をタップする
- 2 【ナビ設定】をタップする
- 3 「リルート」のボックスをタップし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ



【オート】：誘導中のルートからはずれた場合、ナビゲーションがルートからはずれたと判断すると自動的にリルートを行い、目的地までのルートを探し直します。

【手動】：リルートの開始を手動で行います。

- 4 【現在地】をタップする

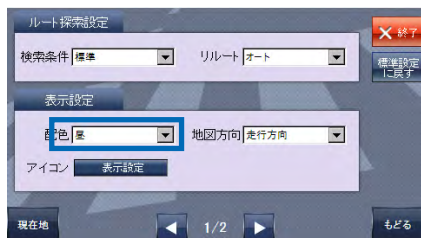
設定を終了します。

メモ

- ・リルート設定で「手動」にした場合、誘導中にルートを外れると「ルートからはずれました」の案内と同時にリルートを行うかどうかの「確認ダイアログ」が表示されます。【リルート】をタップすると、リルートが行われます。

地図の配色を変更する

- 1 「メニュー」をタップする
- 2 「ナビ設定」をタップする
- 3 「配色」のボックスをタップし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ



【昼】：昼の走行に適した配色で表示します。
(※ご購入時の設定です。)

【夜】：夜の走行に適した配色で表示します。

【屋外】：明るい屋外の走行に適した配色で表示します。

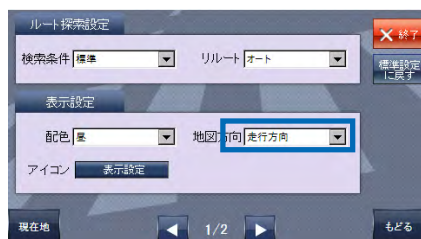
- 4 「現在地」をタップする



設定を終了します。

地図表示の向きを変更する

- 1 「メニュー」をタップする
- 2 「ナビ設定」をタップする
- 3 「地図方向」のボックスをタップし、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ



【走行方向（ヘディングアップ）】：進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。(※ご購入時の設定です。)

【北上固定（ノースアップ）】：常に北が上になるように地図が表示されます。

- 4 「現在地」をタップする



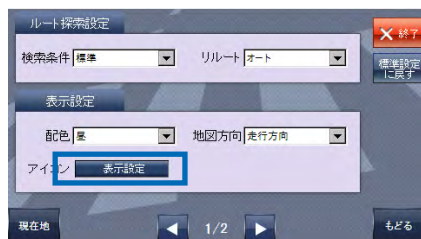
設定を終了します。

メモ

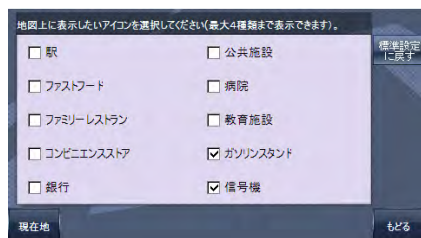
- 「走行方向（ヘディングアップ）」の設定で、ルート誘導中に地図をスクロールした場合はスクロール開始時の表示方向で固定したままスクロールします。【現在地】をタップして「ルート誘導画面」に戻ると、ヘディングアップで表示します。

地図のアイコン表示を変更する

- 1 [メニュー] をタップする
- 2 [ナビ設定] をタップする
- 3 「アイコン」の[表示設定]をタップする



- 4 地図上に表示したいアイコンのチェックボックスをタップする



- 5 [現在地] をタップする

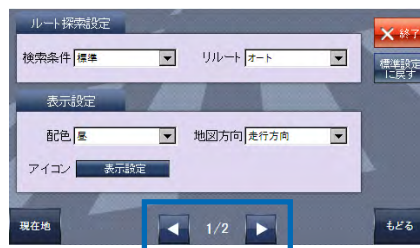
設定を終了します。

メモ

- ・ご購入時、「ガソリンスタンド」と「信号機」が選択されています。
- ・選択できるアイコンは4つまでです。アイコンを4つ選び、他のアイコンを選ぶ場合は、不要なアイコンのチェックをはずしてから選んでください。
- ・この設定画面で【標準設定に戻す】をタップすると、アイコン表示のみがご購入時の状態に戻ります。

走行軌跡表示を変更する

- 1 [メニュー] をタップする
- 2 [ナビ設定] をタップする
- 3 [▶] をタップする



「ナビ設定画面」の2ページ目が表示されます。

- 4 「表示設定」のボックスをタップして、プルダウンメニューから設定する項目を選ぶ



【表示する】：走行軌跡を表示します。（※ご購入時の設定です。）

【表示しない】：走行軌跡を表示しません。

- 5 [現在地] をタップする

設定を終了します。

メモ

- ・軌跡表示は表示スケールに関係なく50m間隔で表示されます。また、表示される走行距離は100kmまでです。

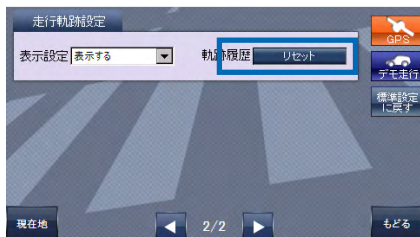
走行軌跡を消去する

- 1 [メニュー] をタップする
- 2 [ナビ設定] をタップする
- 3 [▶] をタップする



「ナビ設定画面」の2ページ目が表示されます。

- 4 [リセット] をタップする

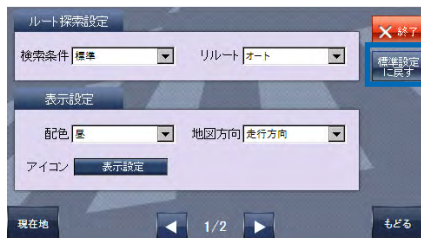


- 5 [現在地] をタップする

設定を終了します。

設定をご購入時の状態に戻す

- 1 [メニュー] をタップする
- 2 [ナビ設定] をタップする
- 3 [標準設定に戻す] をタップする



- 4 [現在地] をタップする

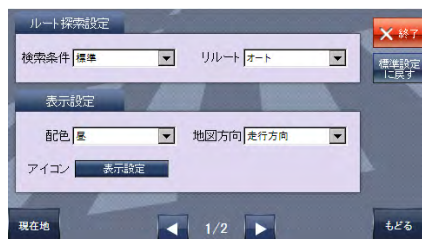
設定を終了します。

メモ

- 「ナビ設定画面」で設定したすべての項目がご購入時の状態に戻ります。
- 「ナビ設定画面」の2ページ目の**【標準設定に戻す】**でも、設定したすべての項目がご購入時の状態に戻ります。

GPS の測位状態を確認する

- 1 [メニュー] をタップする
- 2 [ナビ設定] をタップする
- 3 [▶] をタップする



- 4 [GPS] をタップする



「測位状態表示画面」が表示されます。



衛星測位状態

測位の状態が表示されます。

詳細情報

測位データから緯度、経度、方向、速度、高度、測位が表示されます。

- 5 [現在地] をタップする

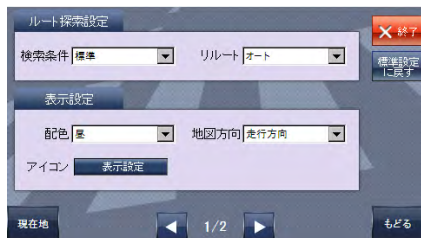
「現在地画面」に戻ります。

メモ

- 高度、速度の情報はある程度の誤差が含まれます。

デモ走行でルート誘導を確認する

- 1 [メニュー] をタップする
- 2 [ナビ設定] をタップする
- 3 [▶] をタップする



- 4 [デモ走行] をタップする



「デモ走行画面」が表示され、デモ走行を開始します。

- 5 [キャンセル] をタップする



デモ走行を中止します。

- 6 [現在地] をタップする

設定を終了します。

メモ

- デモ走行で確認できるルート誘導は、あらかじめインストールされているルートのデータが使用されます。

ナビゲーションを終了する

- 1 [メニュー] をタップする
- 2 [ナビ設定] をタップする
- 3 [×終了] をタップする



▼
ナビゲーションを終了します。

メモ

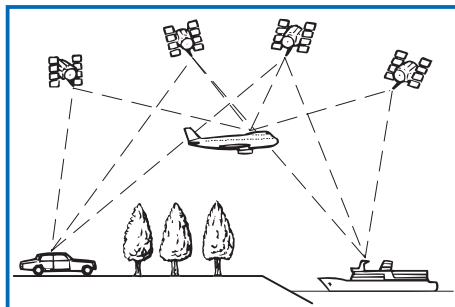
- 案内中にナビゲーションを終了した場合、そのデータは保存されます。次にナビゲーションを起動したとき、「ルート確認画面」で【誘導開始】をタップするとルート誘導を行います。

ナビゲーションのしくみ

GPS による測位

GPS 衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。

GPS 衛星は、地球の周り高度 21,000 km に打ち上げられています。3 つ以上の GPS 衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPS による測位には、3 次元測位と 2 次元測位の 2 種類があります。

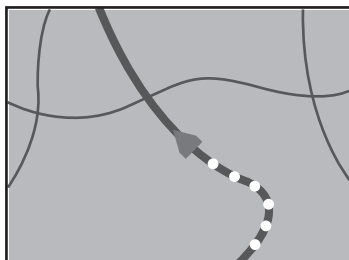


種類	内容
3 次元測位 	GPS 衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の 3 次元で測位できる。
2 次元測位 	GPS 衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の 2 次元で測位する。高度は測位できないため、3 次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

マップマッチング

GPS による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



誤差について

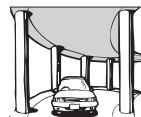
次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS 測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- ・ 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。

※ 車載のテレビで 56 チャンネル (UHF) を受信している。

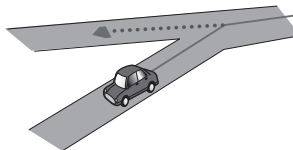
※ GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

GPS 衛星自体による誤差

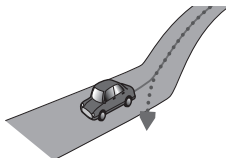
- ・ GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- ・ 測位 (受信) できる衛星の数が少ないときは、2 次元測位となり、誤差が大きくなります。

その他の誤差について

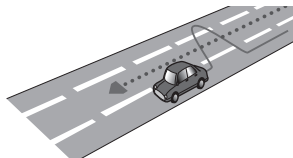
- ・ 角度の小さな Y 字路を走った場合。



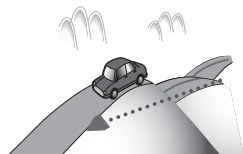
- ・ 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



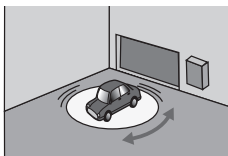
- ・ 蛇行運転をした場合。



- ・ 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



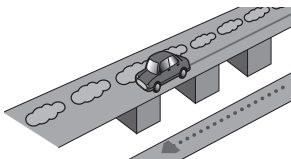
- ・ 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



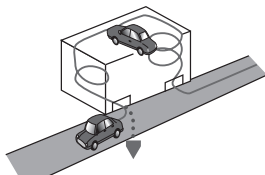
- ・ ヘアピンカーブが続いた場合。



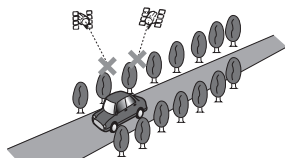
- ・ 道路が近接している場合 (有料道路と側道など)。



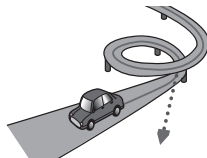
- ・ 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



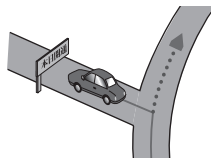
- ・ GPS による測位ができない状態が長く続いた場合。



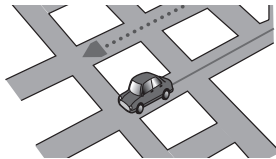
- ・ ループ橋などを通った場合。



- ・ 地図情報にはない新設道路を走った場合。



- ・ 基盤の目状の道路を走った場合。



- ・ 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

収録されている地図情報について

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

地図について

- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース ©2006 財団法人日本デジタル道路地図協会 2006 年 3 月発行）を使用しました。（測量法第 44 条に基づく成果使用承認 06 - 041）
- この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院の承認を得て、同院発行の 2.5 万分の 1 地形図及び 20 万分の 1 地勢図を使用しました。（測量法に第 30 条に基づく成果使用承認 平 17 企指公第 1 号、平 8 総使第 31 号）
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の 2500 分の 1 国土基本図を使用しました。（承認番号）平成 10 年 小田原市指令第 52 号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の 2,500 分の 1 の都市計画基本図を使用しました。（測量法第 44 条に基づく成果使用承認 平成 12 年度 知都発第 170 号）
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の 2500 分の 1 都市計画図を使用しました。（平成 12 年 養建第 1902 号）
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の 2500 分の 1 全図を使用し、調整しました。（承認番号）平 10. 近公. 第 34 号
- この地図は大木町の承認を得て、同町発行の 5,000 分の 1 の地形図を使用し調整したものです。（15 大木建第 734 号）
- この地図は、堀金村長の承認を得て、1/2,500 の都市計画図を参照して作成したものです。（承認番号）平成 17 年 16 堀第 5417 号
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図 1/2,500 使用し、調製したものです。（承認番号 東開第 111 号 平成 18 年 2 月 28 日承認）
- 新刊地形図更新は 2006 年 3 月刊行分を反映しました。
- 通常地図は 2006 年 10 月 1 日までに供用、廃止される情報まで対応します。但し、2006 年 4 月調査時点で取得できた情報までとします。
- 新規開通高速道路は 2006 年 4 月の調査時点で 2006 年 10 月 1 日までに供用される新規道路を収録の対象とします。（但し、道路形状と基本的属性のみとなります）路線名称未定の路線については、仮名称で対応します。
- 自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。
- 住所データについては 2006 年 3 月住所マスターデータを使用します。
- 市区町村合併につきましては、2006 年 10 月 1 日施行分まで対応します。但し、2006 年 4 月時点で取得できた情報までとします。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。TMT 承認番号 07 - 3
- 本製品に使用している交通規制データは、2005 年 4 月リリースの（財）日本交通管理技術協会の提供データをベースに 2005 年 9 月のインクリメント P 株式会社による調査の結果を反映したものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。
- 信号機データは（財）日本交通管理技術協会の提供データをベースに 2005 年 9 月のインクリメント P 株式会社による調査の結果を反映します。

- ・一般道方面看板は 2005 年 9 月のインクリメントP株式会社による調査の結果を反映します。
- ・レーン情報は 2005 年 9 月のインクリメントP株式会社による調査の結果を反映します。
- ・高速道路（有料道路を含む）料金表データは 2006 年 4 月調査で 2006 年 10 月 1 日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車の料金を取得します。
- ・高速施設は 2006 年 4 月調査で 2006 年 10 月 1 日時点に供用されている施設を取得します。

電話番号検索のデータについて

- ・電話番号検索のデータとして、「日本ソフト販売（株）」の「Bellemax」より約 800 万件のデータが収録されています。

アイコン表示について

- ・アイコンが表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

- ・ルート探索をすると、目的地までのルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- ・探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ・出発地、目的地、経由地が細街路（5.5m

以下）上、またはその近辺にある場合、最寄りの広い道路からルートが探索されます。

- ・本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- ・フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- ・フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

ルート探索のしかた

- ・現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- ・河川や駅の反対側を誘導するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに設定してください。
- ・有料道路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- ・場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点」付近に経由地を設定してみてください。

ルートの道塗りについて

- ・道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- ・出発地、目的地、経由地の前後では道塗りされない場合があります。このため、経由地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

音声案内について

- ・有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口施設」と「料金所」は音声案内されないことがあります。

ルート確認画面での有料道路料金について

- ・ 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- ・ 料金非対応路線を含むルートの場合は、その道路の料金は合計料金に含まれません。
- ・ 料金計算ができないルートの場合は、「****」と表示されます。
- ・ 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- ・ 有料道路上およびランプ上からルートを探したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- ・ 一部実際と異なる料金が表示されたり、誘導されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- ・ 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

オートリルートについて

- ・ リルートする場合、ルートをはずれた地点を出発地とするルート検索を行います。
- ・ 目的地、経由地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するルートを引く場合があります。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

(9:00~12:00・13:00~17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとで問い合わせされるときに便利です。



取扱説明書（本体編）

DrivTrax P5

ドリブトラックスP5

パーソナル ナビゲーション デバイス

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

改訂: R00

商標

その他のブランドおよび製品名はすべて、各会社の商標または登録商標です。

メモ

このマニュアルに記載された情報は予告なく変更されることがあります。

目次

1	はじめに	1
1.1	ハードウェア部品を理解する	1
	前面部位	1
	背面部位	2
	右側部位	3
	上面部位	3
	底面部位	4
1.2	初期起動の実行	4
1.3	AC電源の接続とバッテリーの充電	5
1.4	USBケーブルを使ったバッテリーの充電	6
1.5	車内での使用	7
	カーホルダーの使用	7
	カーチャージャーの接続	7
1.6	基本操作	8
	電源のオンとオフ	8
	スタイラスペンの使用	8
	ホーム画面	9
1.7	SD/MMCカードの挿入	10
2	オーディオ	11
2.1	オーディオの起動と終了	11
2.2	オーディオファイルの準備	12
2.3	オーディオファイルの再生	12
2.4	再生コントロール	13
2.5	プレイリストの編集	14
2.6	イコライザ	16
3	ピクチャー	17
3.1	ピクチャーの起動と終了	17

3.2	画像の準備	17
3.3	画像のサムネール表示	18
3.4	画像のフルスクリーン表示	19
3.5	オンスクリーンコントロールボタン	19
3.6	スライドショーの表示	21
4	セッティング	23
4.1	セッティングの起動と終了	23
4.2	バックライト	24
4.3	ボリューム	24
4.4	画面	25
4.5	電源	26
4.6	日時	27
5	ActiveSync	29
5.1	ActiveSyncについて	29
	ActiveSync のインストール	29
	ActiveSyncの使用	30
6	トラブルシューティングとメンテナンス	33
6.1	システムのリセット	33
6.2	トラブルシューティング	33
	電源の問題	33
	画面の問題	34
	接続の問題	34
	GPSの問題	35
6.3	製品本体のメンテナンス	35
7	規制情報	37
7.1	規制適合声明	37
	VCCI	37
7.2	安全上のご注意	37
	充電について	37
	ACアダプタについて	38
	バッテリーについて	38



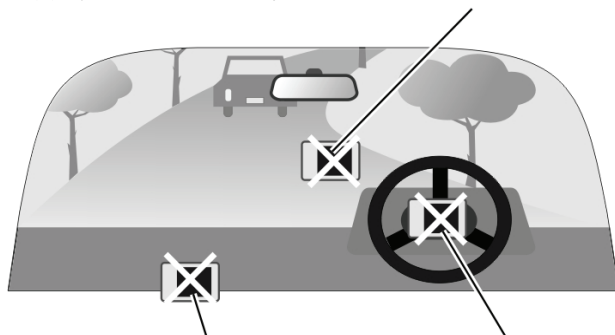
取り扱い上の注意

- 安全のため、運転中は製品の操作を行わないでください。
- 製品は注意深く使用してください。製品はナビゲーション目的にのみ使用するようにデザインされており、方向、距離、場所、地形などの正確な測定はできません。
- 検索されたルートは参照用に過ぎません。ユーザーの責任において、実際の信号や交通法規に従ってください。
- 直射日光が当たるダッシュボードの上などに製品本体を置いたまま車から離れないでください。バッテリーが過熱して、故障や事故の原因になります。
- GPS は米国政府が運営し、その性能の責任を全部負っています。GPS システムの変更はすべての GPS 製品本体の精度に影響を及ぼすことがあります。
- GPS 衛星信号は固体（ガラスを除く）を通過できません。トンネルや建物内では、GPS 測位は利用できません。
- 現在の GPS 位置を決定するには最低 4 つの GPS 衛星信号が必要です。信号の受信状況は、悪天候や上方の（樹木や高層ビルなどの）密集した障害物の影響を受けることがあります。
- 車内の他の無線製品本体が衛星信号の受信を妨害して、受信が不安定になることがあります。

- 車内で製品本体を使用するにはカーホルダーが必要です。製品本体はドライバーの視界やエアバッグの動作を妨げないよう適切な場所に設置してください。

ダッシュボードの上などの不安定な場所に置かないでください。

ドライバーの視界を妨げる場所に設置しないでください。



エアバッグが動作する範囲に置かないでください。

エアバッグパネルの前に設置しないでください。

1

はじめに

1.1 ハードウェア部品を理解する

注意: ご購入いただいたモデルの違いにより、製品本体の色が本書に記載されている製品本体の色と多少異なる場合があります。

前面部位



番号	部品	説明
①	タッチ スクリーン	製品本体の出力を表示します。指先でスクリーンに触れることで、メニューコマンドの選択や情報の入力ができます。
②	充電インジ ケータ	バッテリーの充電中はオレンジ色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。

背面部位



番号	部品	説明
①	拡張コネクタ	このコネクタ（ゴム製ダストカバーの下）は将来の拡張用に準備されたコネクタです。現在は使用しません。
②	スタイラスペン	タッチスクリーンをタップし、アイテムを選択したり、情報を入力したりします。スタイラスペンをスロットから取り出して使用し、使用しないときはスロットに戻しておきます。
③	スピーカー	音楽および音声を出力します。

右側部位



番号	部品	説明
①	電源ボタン	製品本体のオン/オフを切り替えます。
②	ナビゲーションボタン	ナビゲーションソフトウェアを起動します。

上面部位



番号	部品	説明
①	SD/MMC スロット	市販の SD (Secure Digital) や MMC (MultiMediaCard) カードを挿入します。

底面部位



番号	部品	説明
①	リセットボタン	製品本体をリセット（ソフトリセット）します。
②	ヘッドホンコネクタ	ステレオヘッドホンを接続します。
③	ミニ USB コネクタ	AC アダプタまたは USB ケーブルを接続します。

1.2 初期起動の実行

1. 初期起動では、電源ボタンを 6 秒以上押すと、製品本体の電源が入ります。



注意: 通常動作では、電源ボタンを短く押すと、製品本体のオン/オフが切り替わります。

2. 製品本体は自動的にオンになり。製品本体を初めて使用する場合は、使用の前に次のセクションで説明されているように AC アダプタを接続してバッテリーの充電を完了してください。

3. ホーム画面を表示します。これで、製品本体が使用できます。



1.3 AC電源の接続とバッテリーの充電

バッテリーを最初に使用する場合、使用する前に 8 時間以上充電してください。

1. AC アダプタのプラグコンバータをカチッと音がするまでスライドさせます。
2. アダプタケーブルを製品本体の底部に接続します。
3. AC アダプタをコンセントに差し込みます。



4. 充電中は充電インジケータがオレンジ色に点灯します。充電インジケータの表示が緑色に変わって、バッテリーの充電が完了するまで、製品本体から AC 電源を外さないでください。充電には数時間かかります。

注意:

- 残量の少ないバッテリーを充電するために AC アダプタを接続した後、製品本体をすぐにオンにしないでください。製品本体の電源を入れる必要がある場合は、1 分以上待ってから入れてください。
- 製品本体は USB ケーブルを使ってデスクトップコンピュータと接続しても充電されます。

警告: リチウムバッテリーの最適な充電性能のために、以下に留意してください:

- 温度が高い場所（直射日光が当たる場所など）でバッテリーを充電しないでください。
- 充電の前に、バッテリーを完全に放電させる必要はありません。バッテリーは放電しなくても充電できます。
- 製品を長時間使用しなくても、バッテリーは 2 週間に 1 度は充電してください。バッテリーの放電が過度に進むと、充電性能に影響することがあります。

1.4 USB ケーブルを使ったバッテリーの充電

1. コンピュータと製品本体を起動します。
2. USB ケーブルのミニ USB 側を製品本体底部に接続し、反対側をコンピュータの USB ポートに接続します。



注意: この方法で製品本体を充電する場合、バッテリーの充電時間を短縮するため製品本体の電源を切ってください。

1.5 車内での使用

カーホルダーの使用

警告: カーホルダーは適切な場所に設置してください。ドライバーの視界を妨げる場所には置かないでください。

カーホルダーは製品本体を車内に固定するのに使用します。GPS アンテナが上空からの信号を常に受信できるように注意してください。

(取り付け方法についてはカーホルダー付属の説明書を参照してください。)



カーチャージャーの接続

カーチャージャーは車内で製品本体に電源を供給します。

警告: 製品本体をサージ電流から保護するために、カーチャージャーは自動車のエンジン始動後に接続してください。

1. カーチャージャーのミニ USB 側を製品本体の電源コネクタに接続します。
2. 反対側を自動車のシガレットライターに接続すると、製品本体に電源が供給されると共にバッテリーが充電されます。電源が製品本体に供給されていると、カーチャージャーのインジケータが緑色に点灯します。



1.6 基本操作

電源のオンとオフ

電源ボタンを短く押すと、製品本体のオンとオフが切り替わります。

電源ボタンを押して電源を切ると、製品本体は実際はサスペンド状態に入り、システムは動作を停止します。システムを再びオンにすると、システムは復元します。

注意: 電源ボタンを 6 秒間押して電源をオフにした場合、電源をオンにするには、電源ボタンをもう一度 6 秒間押さなければなりません。その後、初期起動スクリーンが表示されます。



スタイラスペンの使用

スタイラスペンは、画面上を移動したり、アイテムを選択したりする際に使用します。スタイラスペンをスロットから取り出し、引き伸ばしてご利用ください。使用後はスロットに戻しておきます。



- **タップ**
アイテムを開いたり、オプションを選択したりするために、スタイラスペンでスクリーンに一度タッチすること。

- **ドラッグ**
スクリーンにスタイラスペンを接触させたまま、アイテムをスクリーンの上下左右に移動させること。
- **タップ & ホールド**
アクションが完了するか、結果またはメニューが表示されるまで、スタイラスペンをタップしたままにしておくこと。

ホーム画面

最初に製品本体を起動すると、ホーム画面が表示されます。ホーム画面は様々なタスクの出発点です。ボタンをタップすると、タスクを開始したり、他のメニューを開いたりできます。



ボタン名	説明	詳細情報
ナビゲーション	ナビゲーションソフトウェアを開始します。	ナビゲーション編
オーディオ	MP3 音楽を再生できます。	第 2 章
ピクチャー	画像を表示します。	第 3 章
セッティング	システム設定をカスタマイズします。	第 4 章

1.7 SD/MMCカードの挿入

製品本体には、市販のSD（Secure Digital）カードやMMC（MultiMediaCard）カードを使用できるSD/MMC スロットが用意されています。2GBまでのストレージカードに対応しています。

SD/MMC カードを使用するには、コネクタを先頭に、製品本体の正面側にラベルが向くようにして、カードをスロットに挿入してください。

カードを取り外すには、カードにアクセスしているアプリケーションがないことを確認してから、カードの上端を軽く押し、カードをリリースさせて、スロットから引き抜いてください。



注意:

- スロットには他のものを入れないでください。
- SD カードや MMC カードは使用しない場合、ホコリや湿気にさらされないように大切に保管してください。

2 オーディオ

2.1 オーディオの起動と終了

オーディオは製品本体を MP3 プレーヤーにします。機能は以下の通りです:

- MP3/WAV/WMA ファイルの再生
- 再生、一時停止、停止、前曲、次曲といった基本的な再生コントロール
- 再生には、1 曲再生、繰り返し、1 曲繰り返し、サンプル再生、通常の曲順再生、ランダム再生が含まれます。
- 11 のプリセットイコライザオーディオプロファイル
- プレイリスト対応

ホーム画面の **オーディオ** ボタンをタップすると、プログラムが起動します。画面にはコントロールパネルが表示され、コントロールボタンをタップすることでプレーヤーを容易にコントロールできます。



プログラムを終了するには、 をタップしてください。

2.2 オーディオファイルの準備

オーディオファイルを再生するには、製品本体の **My Flash Disk\My Audio** フォルダかメモリカードにファイル（.MP3、.WAV、.WMA）がなければなりません。

注意:

- 各フォルダに保存可能な最大ファイル数は512です。
- ストレージカードのルートディレクトリに作成可能な最大フォルダ数は、FAT16フォーマットのカードで512です。FAT32フォーマットのカードではフォルダ数に制限はありません。

コンピュータから製品本体の正しい場所にファイルをコピーするには、ActiveSyncを使用します。（詳しくは第5章を参照してください。）

2.3 オーディオファイルの再生

1. ファイルがメモリカードに保存されている場合は、カードを製品本体に挿入します。
2. ホーム画面の **オーディオ** ボタンをタップすると、プログラムが起動します。
3. プログラムは製品本体およびメモリカード内のオーディオファイルを検索します。オーディオファイルが検出されると、プレイリストに追加されます。
4. 再生を開始するには、 をタップします。再生をコントロールするには、以下で説明されるコントロールボタンを使用してください。

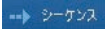


情報エリアには、再生/一時停止/停止ステータス、経過時間、電源ステータス、再生モード、音量レベル、およびアーティスト名（ファイルが表示可能な場合）、ファイル名、全体の長さ、ステレオ/モノ情報といった現在の曲のプロパティを含む現在のステータスが表示されます。

注意:表示可能な最大時間は 99:59 なので、1つの曲の全体の長さが 99 分 59 秒を超えると、情報エリアには正しく表示されません。ただし、曲の再生には影響ありません。

2.4 再生コントロール

コントロールボタン	名前	説明
	再生/一時停止	再生または一時停止します。
	停止	再生を停止します。
	前曲/次曲	前または次のファイルを再生します。
	音量	音量を増減します。 パネル上のインジケータが現在の音量 レベルを表示します。

コントロールボタン	名前	説明
	再生モード	以下のモードを巡回します:
	 シーケンス	現在のプレイリストの全ファイルを順番に再生します。
	 リピート	現在ファイルを繰り返し再生します。
	 全てリピート	現在のプレイリストの全ファイルを順番に繰り返し再生します。
	 ランダム	現在のプレイリストの全ファイルをランダムに再生します。
	 イントロ	現在のプレイリストの全ファイルをランダムにサンプリング (10 秒間) 再生します。
	プレイリスト	プレイリストを開きます。(詳しくはセクション 2.5 を参照してください。)
	イコライザ	イコライザパネルを開閉します。(詳しくはセクション 2.6 を参照してください。)
	終了	プログラムを終了して、ホーム画面に戻ります。

2.5 プレイリストの編集

プレイリストはいつでも編集できます。オーディオを終了すると、プレイリストは保存されます。次にオーディオを起動すると、すべてのファイルが存在している限り、元のプレイリストがそのまま表示されます。(削除されたファイルがプレイリストに表示されません。) 製品本体やストレージカードにオーディオファイルをコピーした場合、プレイリストに手動でファイルを追加できます。

注意: オーディオ使用中にストレージカードを取り外して、再び装着すると、プレイリストは自動的に更新されます。

- コントロールパネルの  をタップすると、プレイリスト画面が表示されます。画面には現在のプレイリストが表示されます。



選択したファイルの再生

曲の追加

戻る

現在のプレイリストから全曲削除する（ファイルは削除されません）

選択したファイルをリストまたはストレージメディアから削除する

2. 曲をプレイリストに追加するには、 をタップします。
3. すべてのオーディオファイルを掲載した画面が表示されます。追加する曲をタップしてから、 をタップします。



選択した曲をプレイリストに追加

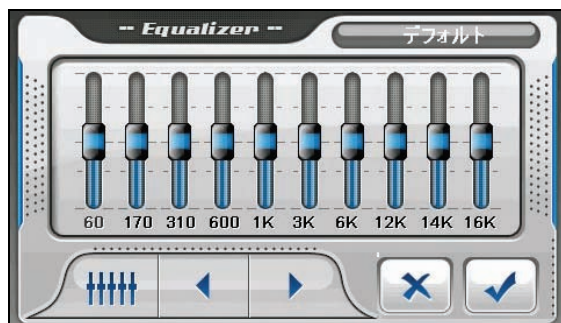
全曲選択

戻る

4. コントロールパネルに戻るには、 をタップします。

2.6 イコライザ

プログラムにより 11 のプリセットオーディオプロファイルが用意されています。 をタップすると、イコライザパネルが開きます。



 または  をタップすると、以下の使用可能なオプションを巡回します: デフォルト、ロック (Rock)、ポップ (Pop)、ジャズ (Jazz)、クラシック (Classical)、ダンス (Dance)、ヘビー (Heavy)、ディスコ (Disco)、ソフト (Soft)、3D、ホール (Hall)。

 をタップすると、選択を保存して、コントロールパネルに戻ります。

デフォルトのプロファイルを選択するには、 をタップしてください。

3 ピクチャー

3.1 ピクチャーの起動と終了

ピクチャーを使えば、JPG、JPEG、BMP 形式の画像を表示したり、製品本体内の画像のスライドショーを上映したりできます。

ホーム画面の **ピクチャー** ボタンをタップすると、プログラムが起動します。



プログラムを終了するには、 をタップしてください。

3.2 画像の準備

画像を表示するには、製品本体の **My Flash Disk\My Pictures** フォルダかメモリカードに画像ファイル（JPG、JPEG、.BMP）がなければなりません。

コンピュータから製品本体の正しい場所にファイルをコピーするには、ActiveSyncを使用します。（詳しくは第5章を参照してください。）

注意:

- **ピクチャー**では32-bit 以上の色深度形式のBMPファイルは表示できません。
- 各フォルダに保存可能な最大ファイル数は512です。
- ストレージカードのルートディレクトリに作成可能な最大フォルダ数は、FAT16フォーマットのカードで512です。FAT32フォーマットのカードではフォルダ数に制限はありません。

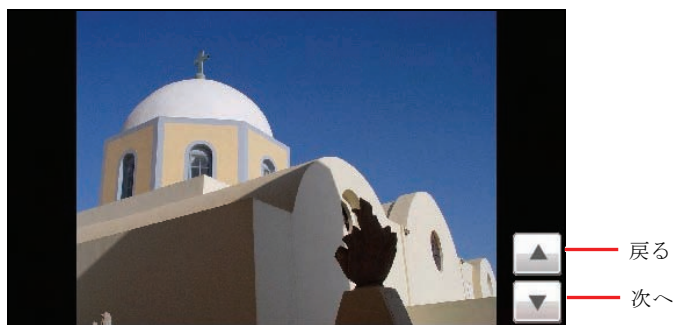
3.3 画像のサムネイル表示

1. ファイルがメモリカードに保存されている場合は、カードを製品本体に挿入します。
2. ホーム画面の **ピクチャー** ボタンをタップすると、プログラムが起動します。
3. プログラムは製品本体の特定のフォルダおよびメモリカードのすべてのフォルダ内の適合するファイルを検索してから、サムネイル表示で画像を表示します。上または下の矢印ボタンを押すと、次または前のページに移動できます。



3.4 画像のフルスクリーン表示

サムネール表示の画像を2回タップすると、画像はフルスクリーン表示されます。



サムネール表示に戻るには、画面上の任意の場所をタップし、コントロールボタンを表示させてから、 をタップしてください。

3.5 オンスクリーンコントロールボタン

オンスクリーンコントロールボタンは様々な機能と設定を提供します。画像上の任意の場所をタップすると、以下のボタンが表示されます。ボタン表示を閉じるには、画像を再びタップします。



コントロール ボタン	名前	説明
	スライド ショー	スライドショーを開始します。（詳しくはセクション 3.6 を参照してください。）
	間隔	各スライドが表示されてから次のスライドに移るまでの時間を設定します。ボタンをタップすると、次の使用可能なオプションにスイッチします。 1 秒 3 秒 5 秒
	情報	ファイルの名前と日付の表示/非表示を切り替えます。 
	削除	現在の画像を削除します。
 	ズーム	ボタンを必要な回数タップすると、1.2x、1.5x、1.8x、2.0x にズームインします。画像にズームインすると、画像をドラッグすることで、画像の他の部分を表示できます。
	戻る	サムネール表示に戻ります。

3.6 スライドショーの表示

すべての画像のスライドショーを表示するには、以下の方法の1つを使用します

- サムネール表示で  をタップすると、スライドショーが始まります。
- フルスクリーンで画像上の任意の場所をタップすると、オンスクリーンコントロールボタンが表示されます。その後、 をタップすると、スライドショーが始まります。



スライドショーを停止するには、画面上の任意の場所をタップしてください。

4

セッティング

4.1 セッティングの起動と終了

バックライトの輝度、音量、時間といったシステム設定をカスタマイズできます。設定を変更すると、次に変更するまで新しい設定がそのまま残ります。

ホーム画面の **セッティング** ボタンをタップすると、下のセッティングメニューが表示されます。



セッティングを終了するには、 をタップします。

各ボタンとその機能については続くセクションで説明されます。

4.2 バックライト

1. ホーム画面の **セッティング** ボタンをタップします。
2. **バックライト** ボタンをタップします。
3. トラックバーにそってノブを動かすと、バックライトの輝度を調整できます。バックライトを暗くするには、ノブを左に動かします。バックライトを明るくするには、ノブを右に動かします。



4.  をタップすると、変更が保存されます。

4.3 ボリューム

1. ホーム画面の **セッティング** ボタンをタップします。
2. **ボリューム** ボタンをタップします。
3. トラックバーにそってノブを動かすと、音量を調整できます。音量を下げるにはノブを左に動かします。音量を上げるには、ノブを右に動かします。

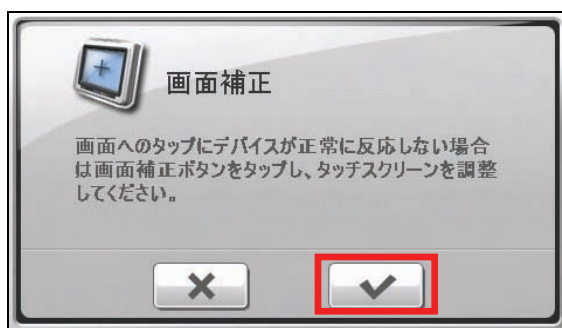


4.  をタップすると、変更が保存されます。

4.4 画面

タッチスクリーンがタップに正確に反応しない場合、タッチスクリーンを補正できます。

1. ホーム画面の **セッティング** ボタンをタップします。
2. **画面** ボタンをタップします。
3.  をタップすると、補正を開始します。



4. ターゲットの中心を押さえます。

ターゲットの中心をスタイラスで 1 秒ほど押さえてください。
スタイラスを離すとターゲットが移動します。同じ動作を繰り返してください。



- ターゲットが他の位置に移動した場合は、新しいターゲットを押さえます。補正プロセスが完了するまで、この動作を繰り返してください。
- 完了後は、 をタップします。

4.5 電源

バッテリーの残量を確認したり、パワーセービング機能を設定したりします：

- ホーム画面の **セッティング** ボタンをタップします。
- 電源** ボタンをタップします。
- 画面にバッテリーの残量が表示されます。

一定時間使用しない場合、製品本体を自動的にオフにするタイマを設定できます。タイマなし、30 分、20 分、10 分のオプションが用意されています。



4.  をタップすると、変更が保存されます。

4.6 日時

1. ホーム画面の **セッティング** ボタンをタップします。
2. **日時** ボタンをタップします。
3. タイムゾーンを変更するには、「タイムゾーン」項目の左/右の矢印をタップします。



4. 日付を変更するには、「日」項目の下矢印をタップします。カレンダーがポップアップ表示されます。カレンダーの左矢印をタップすると年月が戻り、右矢印をタップすると年月が進みます。または、カレンダー上部の月または年をタップすると、月または年を直接変更できます。

カレンダーが現在の月を表示している場合、カレンダーの日付をタップしてください。



5. 時間を設定するには、まず「時間」項目の時、分、または秒をタップします。上矢印をタップすると値が増加し、下矢印をタップすると値が減少します。
6.  をタップすると、変更が保存されます。

5

ActiveSync

5.1 ActiveSyncについて

ActiveSync を使えば、製品本体とコンピュータを接続できます。

ActiveSync のインストール

警告: ActiveSync のインストール中は、接続を指示するメッセージが画面に表示されるまで、製品本体とコンピュータを接続しないでください。

1. コンピュータと製品本体を起動します。
2. 付属の DVD をコンピュータの DVD ドライブに挿入します。自動起動スクリーンが表示されます。
3. **ActiveSync** セクションの **Install (インストール)** ボタンをクリックします。インストールウィザードが自動的に起動します。
4. 画面の指示に従い、ActiveSync をインストールします。
5. 画面にメッセージが表示されたら、USB ケーブルのミニ USB コネクタがある方を製品本体の底部に接続し、もう片方をデスクトップパソコンの USB ポートに接続します。



6. 「パートナーシップの設定」画面が表示された場合、「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックして、ゲストデバイスとして接続します。

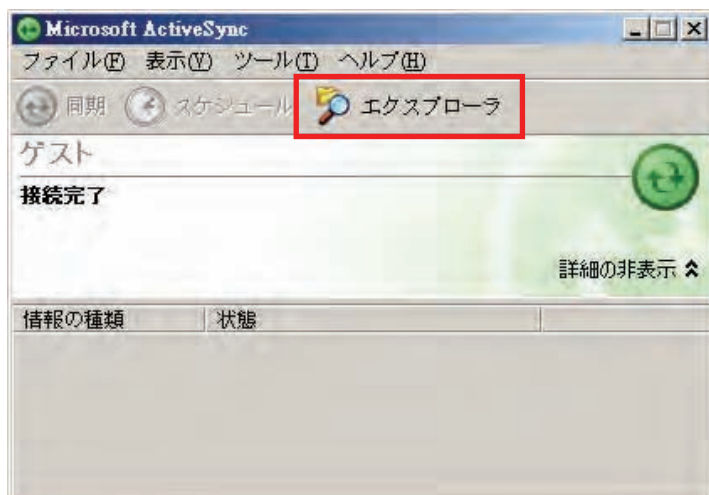
注意:本製品はコンピュータとの同期化をサポートしていません。したがって、パートナーシップを設定する必要はありません。

ActiveSync の使用

ActiveSync をコンピュータにインストールすると、製品本体とコンピュータとの間で（MP3 ファイルなどの）ファイルを交換できるようになります。

注意:ファイルを削除するときは、十分に注意してください。機能が分からないファイルを削除すると、それが原因でプログラムや一部の機能が誤作動を起こすことがあります。

USB ケーブルを使って製品本体とコンピュータを接続すると、「パートナーシップの設定」画面が常に表示されます。必ず「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックして、ゲストデバイスとして接続してください。その後、**エクスポーラ**機能を使えば、モバイルデバイスを参照して、データを転送できます。（ファイルをコピーする方法については、**ActiveSync** のオンラインヘルプを参照してください。）



6

トラブルシューティングとメンテナンス

6.1 システムのリセット

製品本体のリセットが必要になる場合があります。例えば、反応しなくなった場合や「フリーズ」または「クラッシュ」が発生したと思われる場合は、システムをリセットしなければなりません。

スタイラスペンを使い、製品本体のリセットボタンを押します。これは「ソフトリセット」と呼ばれます。



6.2 トラブルシューティング

電源の問題

バッテリー電源を使用すると電源がオンにならない

- バッテリー電源の残量が少ないので、製品本体が起動しない可能性があります。AC アダプタを使って製品本体と AC 電源を接続してから、製品本体の電源を入れてください。

画面の問題

画面が映らない

電源ボタンを押しても、画面が反応しない場合、問題が解決するまで以下の方法を順に実行してください:

- AC アダプタを使って製品本体と外部 AC 電源を接続します。
- システムをリセットします。

スクリーンの反応が遅い

- 製品本体がバッテリー電源を使い果たしていないことを確認してください。それでも問題がある場合はシステムをリセットしてください。

スクリーンがフリーズする

- システムをリセットしてください。

画面が見づらい

- ディスプレイのバックライトがオンになっていることを確認してください。
- バックライトの設定を明るくしてください。

タップが正しく反応しない

- タッチスクリーンを再補正してください。（補正方法についてはセクション 3.4 を参照してください。）

接続の問題

ケーブル接続の問題

- 接続を確立する前に、製品本体とコンピュータの両方の電源が入っていることを確認してください。
- ケーブルがコンピュータの USB ポートと製品本体に正しく接続されていることを確認してください。USB ケーブルは USB ハブを通してではなく、コンピュータに直接接続してください。
- ケーブルを接続する前に製品本体をリセットしてください。コンピュータを再起動する場合は必ず製品本体を外してください。

GPSの問題

使用できる有効な信号がない場合、以下を検討してください:

- GPS アンテナが上空からの信号をよく受信できるようになっていることを確認してください。
- GPS 受信は以下の要素の影響を受けることに注意してください:
 - ✓ 天候不良
 - ✓ 上方の（樹木や高層ビルなどの）密集した障害物
 - ✓ 車内の他の無線製品本体
 - ✓ 自動車のフロントガラスまたはウィンドウの反射材

6.3 製品本体のメンテナンス

製品本体のお手入れをよくすると、トラブルのない動作が確保され、故障の可能性を低減できます。

- 高温・多湿の場所に製品本体を置かないでください。
- 直射日光や強い紫外線のあたる場所に製品本体を長時間放置しないでください。
- 製品本体の上にものを置いたり、製品本体の上にものを落としたりしないでください。
- 製品本体を落としたり、製品本体に強い衝撃を与えたりしないでください。
- 製品本体に急激で大幅な温度変化を与えないでください。これによりユニット内部に結露が生じて、製品本体の故障の原因になることがあります。結露が生じた場合は、使用する前に、製品本体を完全に乾かしてください。
- 製品本体の上に座らないように注意してください。したがって、製品本体はズボンの後ろのポケットに入れて持ち運ばないようにお勧めします。
- 画面の表面は傷つきやすくなっています。とがったもので触らないでください。画面が傷つくのを防ぐためには、LCD パネルを装備したポータ

ブル製品本体で使用するために特別にデザインされた非粘着性の一般的なスクリーンプロテクターが使用できます。

- 電源を入れたまま製品本体をクリーニングしないでください。製品本体の画面やフレームを拭く場合は、水を含ませた柔らかくて糸くずの出ない布を使用してください。
- 画面をクリーニングする場合、ペーパータオルを使用しないでください。
- 製品本体の分解、修理、改造はしないでください。分解、改造、修理は製品本体の故障、傷害、財物損壊の原因となり、保証が無効になります。
- 製品本体およびその部品やアクセサリと同じ場所に、可燃性の液体、気体、爆発物を保存または搬入しないでください。

7

規制情報

7.1 規制適合声明

VCCI

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

7.2 安全上のご注意

- 最大音量で長時間音楽を聞くと、聴力障害の原因になる場合があります。
- 推奨または付属のヘッドフォン以外のヘッドフォンを使用すると、過度の音圧により、聴力障害を引き起こす場合があります。

充電について

- 製品付属の AC アダプタ以外のご利用にならないでください。その他の AC アダプタを使用すると、故障の原因となり、危険です。
- 製品付属の車内充電器以外のご利用にならないでください。その他の車内充電器を使用すると、故障の原因となり、危険です。
- この製品は、LPS (Limited Power Source) 合格シールのある電源のみを使用してください。また、定格出力は +5 V dc / 1.0 A です。
- メーカー認定の USB ホルダー以外のご利用にならないでください。

- 指定のバッテリー以外はご利用にならないでください。

AC アダプタについて

- 本品は日本国内および、屋内専用です。
- 付属する機器以外への接続、使用をしないでください。
- アダプタは高温環境で使用しないでください。また、濡れた手足でアダプタに触れないでください。
- 使用中は表面が熱くなることがあります。
- 家庭用 AC 電源以外では使用しないでください。
- アダプタを接続して製品を使用している場合や、バッテリーを充電している場合は、アダプタ周辺を適度に換気してください。AC アダプタに紙をかぶせたり、異物を置くなどして、アダプタの冷却を妨げないでください。キャリーケース内で AC アダプタを使用しないでください。
- アダプタは適切な電源に接続してください。製品ケースやパッケージに電圧とアース条件が記載されています。
- コードが破損した場合は、アダプタの使用を中止してください。
- シュート、分解、改造などはしないでください。
- 本体をご自分で修理しないでください。本体内部にはユーザ自身が修理できる部品は含まれていません。本体が破損したり、湿気を受けた場合は、交換してください。

バッテリーについて

- メーカー認定の充電器以外はご利用にならないでください。
- **警告:** バッテリーを分解したり、穴を開けたり、火気の中に入れないでください。バッテリーが破裂または爆発し、有害物質が放出される危険があります。

- **重要 (サービス員限定)**

- √ 注意:不当な種類のバッテリーと交換すると、爆発する危険があります。使用済みバッテリーは地域の指示に従って廃棄してください。
- √ 同じバッテリー、またはメーカーの推奨する同等のバッテリーと交換してください。
- √ バッテリーは正しくリサイクルまたは廃棄してください。
- √ 指定されたデバイスでのみ、バッテリーをご利用ください。